

インターネット依存・ゲーム行動症の基礎と臨床

～明日から活かせるインターネット依存・ゲーム行動症臨床のエッセンス～

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を受けております。<承認期間:2022年7月2日~2027年7月1日 承認番号:20210392>

期 日 : 2024年6月29日(土)

受講対象 : 教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場で、子どもに関わる専門家および
興味のある方々

定 員 : 80名 (定員になり次第締切りますのでホームページでご確認ください。先着順となります)

受講料 : 8,500円(税込)

主 催 : 公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場 : 明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします
東京都豊島区高田3-19-10
JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」より徒歩約7分

*** 企画講師 ***

三原 聡子 先生

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター
主任心理療法士

インターネット依存・ゲーム行動症関連問題は、医療・教育・福祉・産業・司法など、様々な現場で働く心の支援者にとって、形をかえて現れてくる問題になっているのではないのでしょうか。特に近年、推しの配信者へ高額な投げ銭をしてしまったことによるトラブルや、親のインターネット依存によるネグレクトなど、インターネット依存関連問題の多様化、複雑化が進み、これまでにみられなかったような問題も起きてきています。本講座では、どこからが依存と言えるのか、なぜインターネットに依存するのかといった、基本的な話から、ご本人と関わる際のポイントや、ご家族の支援方法、医療機関、相談機関にオファーする際の留意点、効果的な予防教育など、明日から現場で活かせるような具体的な内容をお話したいと思っています。そして、様々な現場で共通して現れるような困難な場面への対処法のディスカッション、久里浜医療センターが作成したゲーム行動症に特化した認知行動療法(CAP-G)の模擬体験、架空の事例検討などを通じて、ゲーム障害関連問題に携わっている様々な現場の支援者の方が、インターネットやゲームに依存している人の心理や状態像を理解しながら、自信をもって介入できるようになるエッセンスをお伝えしたいと思っています。

【企画講師 三原 聡子】

【プログラム】

時間	テーマ
10:00-11:00	講義① インターネット依存・ゲーム行動症の基礎と支援
11:10-12:00	講義② 予防・家族支援
12:00-13:00	昼食～各自お取りください～
13:00-14:00	グループ① 対応に困るケース・場面について考えよう
14:00-14:30	質疑応答
14:40-15:40	グループ② ゲーム行動症に対する認知行動療法グループ模擬体験
15:50-17:00	グループ③ 事例検討・質疑応答

*カリキュラム・休憩時間等が変更になる場合があります。